

全国模試を受ける理由

全国模試（実力テスト）は、これまでの勉強の成果と実力が数字となって現れます。小学生は、学校のテストとのギャップを感じることも多いようですが、全国模試の A テストは公立中学校へ進む小学生の基準テストです。（受験型は B テスト）

小学校のテストで 90 点以上取っていても、全国模試では平均点が取れないお子さまがいます。小学校のテストで 90 点以上取っていても全国模試では偏差値 40 台ということもありえます。

多くの保護者様が我が子に普通以上の学力を身につけて欲しいと願います。しかし、「普通」とは何なのでしょう？

小学校のテストで 90 点取れていれば普通？いや、小学生基準の全国模試で平均点をとっていたら普通といえます。

① 小学生の普通って？

小学校のテストは 85 点以上が普通です。なぜなら小学校で実施されているテストは、文部科学省の指導により平均点が 85 点前後になるように設定されているからです。小学校のテストで 90 点取れる子達が中学校のテストで 50 点～100 点に分かれる。これは確実に起こる事実で

す。小学校のテストで 90 点以上とれたら中学校のテストで結構上位に位置する、のイメージは湧きますが、確実ではありません。

前述のように、小学校のテストで 90 点以上取れているお子さまも公立中学進学基準の全国模試で偏差値 40 を記録したりします。

つまり、小学校のテストでは「普通」がわかりにくいのです。

②何のための全国模試なのか？

先のことを考えると小学生のうちは点数や偏差値よりも大事な事があります。それは、

- ① 理解していなかったところ、覚えていなかったところを知る。
- ② 全国模試を通じて「自分の位置を知る」

ということです。

学校のテストではわかりにくい、自分の本当の学力を知ること
は大切なことです。

学校のテストでは、単元が終わるとすぐにテストがあるので記憶も新しく、できて当たり前になっています。エビングハウスの忘却曲線を見るに、この後 1 週間、1 か月たってはたして、履修直後の点が取れるのでしょうか？そのような観点から、本当の自分の位置、学力がわかるの

が全国模試です。

塾が使用している非受験用の全国模試の難易度はそれほど高くないため、基礎力があれば 60 点～70 点は取ることが出来ます。

小学生で身につけるべき「基礎」が「差」になって見え始めるのは小学 5 年生です。小学 4 年生の段階で「差」が現れてしまっている場合は、取り戻すのに少々苦労します。 だからこそ、中学受験に興味があっても無くても小学生から模試を受けて欲しいと思います。

そして、自分が理解していなかったところ、覚えていなかったところをしっかりと穴埋めすることが大切なのです。

③ 模試を受けると学力が上がる？という話

受験後、答案用紙が返ってきたら、そこからが本番です。

学志舎では生徒に常々

テストとは、「**返ってきたとき時から始まるもの**」 と伝えております。

高得点を取るに越したことはありませんが、大切なことは×印のところを大切にする、ということです。テストを受けることによって自分の弱点を見つけ、そこをしっかりと穴埋めすればよいのです。

本番である高校受験、大学受験までに・・・。

① 模試の前に実力強化問題の勉強をして

塾で強化問題テストを受ける→間違い箇所は全問正解するまで学習

② 模試を受験

③ 家で間違えたところをもう一度解く。間違えたら答えを見て

考える。（親さんに聞く）

④ わからない問題は塾でコーチに聞く→全部わかるようにする

⑤ 再テスト（全問解く）をして、塾でもらう表紙を付けて提出

⑥ リテストをして、解けるようになったことを確認。（受験時に間違えた問

題を塾がチェックして、一人一人のリテスト用の解答用紙を作成してあります）

年に3回この流れを繰り返していきます。

きちんと上記をこなせば・・・

必ず実力がつきますよね！

同じ費用をかけるなら、最大の効果が出るようにしたいと、リテスト

までの復習を実施しています。

もう一度言います。

テストは返ってきた時から始まる！